

2023（令和5）年度 事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一（堀ノ内）・第二（方南）

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

1. 自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
2. 毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
3. やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

(1) 法人運営

理事会は、臨時も含め年6回開催しました。就業規則の変更(定年制の見直し、休憩時間取得の確立など)・賃金規定の見直し・経理規程の作成・施設長交代・職員処遇改善(ハラスメント防止・労働契約の見直し・キャリアアップ・職員相談体制等)・BCP計画制定や事業計画及び方南の移転についてなどの運営や経営等の課題に取り組みました。

(2) 施設運営

施設状況は、施設長の退職により5月から9月まで施設長不在の間、理事長・副理事長が応援に入り、副施設長・主任等と臨時の管理体制を整え施設運営を行いました。

利用者状況は、前年に続き高齢化に伴う登所日数の調整による利用日数の減少と、年度当初はコロナウイルス感染による欠席が多く、いずみ第二は4月の出席率が52%となり、年度中盤(11月)まで60%台の出席率が続き、年度後半に入り70%台に持ち直してきました。国保連収入については、年度前半に入所2名、5名の退所者があったことや、コロナウイルスによる出席率の低下により昨年度を3%程下回りました。但し、12月以降6名の入所者があり、年度で見ると3名増加になっており、増収収入となりました。また、3月に1名就職者を輩出し、就労支援の新しい動きに繋がりました。

工賃収入は前年度と比べて増額になり、第二の平均工賃が2万円を超え、事業の成果が反映されています。第一につきましては利用者の増加もあり、受注先の開拓も行っています。

(3) 三役会

理事長・副理事長・施設長と副施設長での三役会を月2回定期的に行い、(1)法人運営に書かれている事項や(2)施設管理事項を策定・審議し、理事会に提案、事業運営や経営の詳細確認、職員処遇の調整を行いました。

今後の課題は法人の将来事業を見据えての構想や中長期計画等、ビジョン・ロードマップ・ガイドラインの策定などがあります。

(4) 主任会議

会議は毎週開催し、各所の利用者状況や予定や報告等の情報交換・意見交換・課題などの把握をしました。支援への共通認識となり、良い連携が生じています。また会議は情報伝達・意思疎通・交流など主任のコミュニケーションの場ともなりました。

(5) 職員会議

全職員会議は審議機関としての役割と委員会等の報告や虐待防止などの研修及びワークショップを行い、職員間の共通認識と意思疎通を図りました。

日々の各所職員ミーティングは夕方15分程度行いました。その日の振り返り・申し送りは情報共有となり、事故や不適切支援への未然の防止となっています。

(6) 利用者支援

① 入退所状況

いずみ第一…いずみ第一から第二へ1名異動。その他1名就職 1名退所
堀ノ内から1名異動の他年間に5名入所
いずみ第一堀ノ内…他施設より1名入所
いずみ第二方南…すだちの里へ2名異動の他1名退所。
第一から1名異動の他新規3名入所

② 高齢化

年齢別構成利用者状況は法人全体で50歳以上が50%弱を占めており、そのうち65歳以上の方が10名(内70代4名)と、ここ数年のうちに退所が見込まれ、施設運営上も利用者の年齢層を下げる必要があります。また、高齢者の場合転倒や体調管理など生活面での配慮も必要となり、家族やGHと

の連携が重要となっています。今後介護保険への移行を視野に入れながら、いずみとしての高齢者サービスを検討したいと思います。

(7) 日中活動

①余暇活動

コロナ感染症第五類移行に伴い対策を行った上で、行事は各事業所で利用者のリクエストに応じてレクリエーションを行いました。各施設内で感染対策を講じながら、歓迎会、二十歳を祝う会、カラオケ大会、スポーツ大会、昼食ツアーなどを行い、全体行事と各施設で行うものをそれぞれ楽しんでもらいました。

②作業活動

アート活動を積極的に取入れ、作成から製品までの工程を作業活動にしました。施設内や杉並区障害者週間イベントや外部協力機関で展示し、販売し、販売に繋がっています。

③広報活動

日々の施設の様子や月の予定を「いずみ通信」で知らせ、本人・家族・地域に配布し、いずみを知っていただくツールとして今後も活用して行きます。ホームページについては、施設状況を随時更新し周知に努め、問い合わせも貰いました。但し、今後の施設移動時にはホームページのリニューアルも検討したいと思います。

(8) 生産活動

①自主製品販売

コロナ禍の活動制限が解除されたことにより、第二の委託販売先の催しも増え、売上額が昨年度より25%増と大きく伸ばすことができました。

②受注作業

年度後半には新たな受注先からの依頼もあり、前年度比11%の売り上げ増となりました。

③工賃

平均工賃について、いずみ第一は受注量の増加はありましたが利用者も増えた関係で前年並みの1万円から1万5千円となりました。いずみ第二は自主製品が伸びたこともあり昨年度の目標1万5千円以上から2万円以上お支払いすることができました。

(9) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策は緩和されましたが、手指消毒や洗面所消毒などの防疫を行い、感染状況を鑑みながら防疫体制を緩めたり強くしたりしながらの運営を行いました。

①感染状況

利用者 28 名、職員 11 名が陽性になりました。4 月に第二で職員・利用者 11 名の感染があり、年度後半の 2 月には第一で職員の感染が多数あり、職員体制の維持に努めました。

②引き続いての感染対策

ア、マスク装着、手の消毒の徹底

イ、空気清浄機の設置

ウ、1 日 2 回の検温と通所前の検温のお願い

エ、体温 37 度以上の人のお宅待機等の対策(職員含む)

オ、職員を対象に、週 2 回の抗原検査を実施。

(10) 施設内健康チェック

インフルエンザ予防接種は法人が費用を負担し、希望された人に事業所内で実施しました。眼科検診と内科健診には今年度も安全を考慮して中止としました。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

利用者に安心して通所してもらうため、職員は利用者とのコミュニケーションの機会を大切に、生活上や施設内の出来事などを聞きながら、一緒に楽しんだり、適切なアドバイスをするなど信頼関係は高まっていると思います。

年 2 回の三者面談では相談事業所に可能な限り参加していただき、関係支援機関との連携に努めました。

また、年度後半より利用者のキャリ発達への意識を高め、職員が小さな変化にも気づきを持ちそれを個別支援計画に記述して、ご家族や関係者と共有しました。

(2) 関係機関との連携

すぎなみ仕事ねっと、杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議に参加し、杉並区内の就労移行、A型・B型施設や特別支援学校との研修会を法人内にて開催し、地域や障害福祉サービスに関する情報交換を行いました。

また、福祉系の大学より社会福祉士・ソーシャルワーク実習の受け入れを行い、実習生に学びの機会を提供しながら、担当職員の意識向上にも繋がりました。

自主生産品の販路拡大・促進として、今年度も近隣の他法人が運営する「マングローブ」喫茶店に自主製品のせんべいを引き続きおかせていただき販売しました

(3) 地域との連携

新型コロナウイルスの感染症対策が緩和されたことにより、地域イベントも縮小解除や再開があり、杉並区育成会のクリスマス会、コミュニティーふらっと方南、方南町商店街と連携し、イベント販売をさせていただきました。

その他職員の施設間体験実習への参加、防災診断の実施、杉並区が実施した虐待防止・権利擁護研修や人材育成研修に参加し施設運営に活用しました。

※感染対策が緩和され、所内におけるスポーツ大会や二十歳を祝う会など全体行事の再開をしました。いずみ祭りやバス旅行の実施には至っていません。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

①名 称：杉並いずみ第一（和泉）

所在地：東京都杉並区和泉4-4-4

電 話：03-5377-2121

E-mail：suginami-izumil@fuga.ocn.ne.jp

②名 称：杉並いずみ第一（堀ノ内）

所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11

電 話：03-3317-0831

E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp

③名 称：杉並いずみ第二（方南）

所在地：東京都杉並区方南1-52-20

電 話：03-3321-4485

E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

① 開 設 昭和52年3月

② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

①杉並いずみ第一（和泉）

敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²

建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月

②杉並いずみ第一（堀ノ内）

面積 162,85 m²

③ 杉並いずみ第二（方南）

面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成（令和6年3月31日現在）

常勤14名 非常勤14名 計28名

職 種	和泉	堀ノ内	方南
管理者（施設長）	1（兼務）		
サービス管理者	1	1	1
主任支援員			
常勤支援員	3	1	3
目標工賃達成指導員	1	1	1
非常勤支援員	5	4	3
事務局事務員	2（兼務）		

②職員人事

年 月 日	職 種	事由	備 考
R5.4.1	第一非常勤支援員	入職	
R5.5.19	施設長	退職	自己都合

R5. 9. 5	添乗員	退職	自己都合
R5. 9. 21	添乗員	退職	自己都合
R5. 10. 1	施設長	入職	
R5. 10. 1	第二非常勤支援員	入職	
R5. 10. 1	第二常勤支援員	入職	
R5. 10. 31	第二常勤支援員	退職	自己都合
R5. 11. 30	第二非常勤支援員	退職	自己都合
R6. 3. 31	事務局非常勤職員	退職	自己都合

(6) 利用者状況 (令和6年3月31日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

区内在住の、主に知的障害者のうち、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、就労移行支援事業等を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない方や、一定年齢（50歳）に達している人であって就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待される人。

イ. 定員 80名

ウ. 現員 68名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：(男性) 50.6歳 (女性) 41.6歳 (全体) 46.7歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	0	5	9	2	10	13	39
女性	0	7	6	6	7	3	29
合計	0	12	15	8	17	16	68

③ 障害程度

愛 身障	なし	1級	2級	3級	4級	5級	合計
	2度	12	0	0	0	0	0
3度	26	2	0	1	1	1	31
4度	22	0	0	1	0	1	24
合計	60	2	0	2	1	2	67

* 他に精神障害2級の利用者1名で年度末利用者合計68名

④ 障害支援（程度）区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	0	7	9	18	7	1	8	0	50
第二	0	0	5	8	4	0	1	0	18
合計	0	7	14	26	11	1	9	0	68

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高校 ・大学	就労	在宅	合計
第一	19	11	0	16	4	50
第二	10	2	1	2	3	18
合計	29	13	1	18	7	68

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	1	1	48	20	776	343	81%	65%
5	60	0	1	47	20	799	109	85%	67%
6	60	0	0	46	22	888	154	87%	67%
7	60	0	0	46	20	809	141	88%	67%
8	60	0	0	46	19	743	154	85%	65%
9	60	1	0	47	20	789	142	84%	66%

10	60	0	0	47	21	862	119	87%	68%
11	60	0	0	47	20	797	139	85%	66%
12	60	1	0	48	20	822	141	86%	69%
1	60	3	0	51	19	822	146	85%	72%
2	60	0	1	51	19	819	152	85%	72%
3	60	0	0	50	20	894	215	89%	75%
合計	—	6	3	—	240	9,820	1,751	85%	68%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	0	1	17	20	207	133	60%	52%
5	20	1	0	17	20	285	55	84%	71%
6	20	0	1	16	22	336	16	95%	76%
7	20	0	0	18	20	284	36	78%	71%
8	20	0	1	15	19	252	33	88%	66%
9	20	0	0	15	20	267	33	89%	67%
10	20	0	0	15	21	280	36	89%	67%
11	20	1	0	16	20	276	44	86%	69%
12	20	1	0	17	20	285	55	84%	71%
1	20	1	0	18	19	284	58	83%	75%
2	20	0	0	18	19	278	64	81%	73%
3	20	0	0	18	20	317	43	88%	79%
合計	—	4	3	—	240	3,351	606	84%	70%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	臨バス	電車	バス 電車	送迎車	送迎車 路線バス	送迎車 徒歩	マイカ ー	合計
第一第二	22	13	7	9	15	1	0	1	68

⑧ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施設 移動	入所施設 移動	在宅	死亡	合計
第一第二	1	0	1	0	1	2	2	0	0	6

⑨ 生活の場

	家庭	GH	単身	合計
第一第二	37	29	2	68

⑩ ぜんち共済加入状況（令和6年3月31日現在）

加入者 93名（@18,500円 75歳以上は@21,000円全額施設負担）

事業実績

（1）活動プログラム

公園清掃は年間のスケジュール通り行いました。

レクリエーション活動については、利用者の希望を取り各所2回～4回行ないました。

ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてん橋・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・方南緑地	104回
		泉南・弁天橋東	78回
レクリエーション活動	第一和泉	5月・自施設(カラオケ・ゲーム)	24名
		6月・自施設(カラオケ・ゲーム)	29名
		8月・自施設(カラオケ・ゲーム)	27名
		12月・自施設(昼食)	29名
		3月・自施設(カラオケ・ゲーム)	33名
	第一堀ノ内	5月・昼食お買い物ツアー	13名
		8月・第一回昼食ツアー	15名
		12月・第二回昼食ツアー	14名
第二方南	3月・自施設(カラオケ・ゲーム)	13名	
第二方南	10月・スシロー昼食会	15名	

週間プログラム（10:30～と14:30～それぞれ10分間の休憩）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業
12:00 ~ 13:00	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
13:00~	作業	作業	作業 浴風会	作業	作業
15:50~	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(1) 行事

令和5年度の5月より新型コロナウイルスの感染分類が変更されましたので、全体で集合する行事も開催しました。

項目	施設名	実施月・場所	利用者参加人数
歓迎会（入所式）	第一・第二	4月 オンライン	57名
宿泊旅行	第一・第二	新型コロナウイルス 感染拡大の為中止	0名
いずみまつり	第一・第二		0名
スポーツの集い	第一・第二	9月 オンライン	54名
スポーツイベント （全体）	第一・第二	12月 セッション杉並体 育館	54名
新年を祝う会	第一・第二	1月・各自施設	55名
二十歳を祝う会 （全体）	第一・第二	1月 セッション杉並会 議室	59名

(2) 就労支援の取り組み

職場体験実習（清掃業務）に1名参加しました。

(3) 工賃アップの取り組み

新型コロナウイルスの影響の中、委託販売に出品し売り上げ増になりました。
ネットショップはまだ知名度は低いですが、少しずつ売り上げが増えてきました。

(以下に販売、工賃を記載)

①各所の作業

ア、第一和泉

自主生産作業：せんべい、レジンアクセサリ（ピアス等）

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等

清掃作業：べんてん橋公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

イ、第一堀ノ内

自主生産作業：ビーズアクセサリ 猫の爪とぎ

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等
DMポスティング作業

清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託）

ウ、第二方南

自主生産作業：手織り、手染め、フェルト商品製作等

清掃作業：上水橋緑地、弁天橋東緑地、泉南緑地、方南緑地（杉並区より受託）

②生産・販売全体状況

ア、施設外販売

施設名	参加機関	内容
第二	スリーパンズ	参加回数 12 回 販売日数 6 4 日
第二	ハッピースマイル フェスタ	2 回 1 0 日間
第一・第二	方南町商店街	方南祭り
第一・第二	ふらっと方南	ふらっと方南祭り
第一・第二	杉並区	杉並フェスタ
第一・第二	杉並区育成会	総会、クリスマス会
第一・第二	妙法寺	夏のふれあい千日紅花祭り
第一・第二	仕事ねっと	アメリカハワイワールドフェスティバル

③工 賃

ア、第一(利用実績がない方がいる場合0)

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	48	45	517,660	11,504	24,750	0
5	60	47	45	439,080	9,757	21,220	0
6	60	46	44	391,730	8,903	18,670	0
7	60	46	44	434,260	9,870	19,350	0
8	60	46	44	332,650	7,560	15,870	0
9	60	47	45	735,430	16,343	33,340	0
10	60	47	46	379,430	8,248	18,180	0
11	60	47	46	456,230	9,918	22,280	0
12	60	50	46	481,050	10,458	22,700	0
1	60	51	49	589,650	12,034	24,820	0
2	60	51	49	345,020	7,041	14,910	0
3	60	50	49	835,760	17,056	15,450	0
合計			551	5,937,950	10,776		

イ、第二(利用実績がない方がいる場合0)

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	17	16	176,660	11,041	23,110	0
5	20	17	16	192,070	12,004	26,790	0
6	20	16	16	192,110	12,007	24,530	0
7	20	16	15	180,020	12,001	24,220	0
8	20	15	15	108,040	12,003	24,500	0
9	20	15	16	515,550	32,222	65,130	3,000
10	20	15	14	180,020	13,001	25,650	0
11	20	16	15	195,090	13,006	20,090	0
12	20	17	16	216,150	13,509	29,720	0
1	20	18	17	229,600	13,506	32,290	0
2	20	18	17	229,750	13,515	24,180	0
3	20	18	17	888,380	52,258	81,790	0
合計		198	190	3,377,440	15,985		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

年に2回職員会議で、全職員の無記名での「虐待防止セルフチェック」を行いました。全体的には前向きに支援を行っているとの集計結果が得られました。
(別紙参照)

今年度虐待事案は発生しませんでした。虐待防止の外部研修に2回参加し、研修報告を職員会議内で行いました。

(2) 虐待防止委員会

- ① 今年度は12回実施しました。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。

ア、職員チェックリストの実施(年2回)

イ、研修実施

ウ、事例検討(質の良い支援や合理的配慮支援など)

(虐待防止責任者)

氏名	職種
茂木 幹雄	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	茂木 幹雄	施設長
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	大久保 江理子	副施設長
委員	伊藤 貴司	支援員
委員	梅田 良子	支援員
委員	久保木 真奈美	支援員

(3) 苦情解決

苦情解決委員会に諮るまでもない事案はありませんでした。しかし、連絡帳の字が読みにくいなど、職員の配慮が必要な事案がありました。

- ① 苦情解決体制

ア

役割	氏名	職種
苦情解決責任者	大久保 江理子	副施設長
苦情受付担当者	辻村 佳子	主任事務員
苦情受付担当者	大内 留美子	主任支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員（連絡先）03-3312-2111(代表)

ウ. その他

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口（連絡先）03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

（連絡先）03-5238-7020

② 令和5年度苦情受付状況

特にありませんでした。

6. 医務

(1) 健康管理

歯科・耳鼻科は医師が来所し実施、内科・眼科は新型コロナウイルス感染症拡大の為に中止または延期となりました。結果については個別に配布し対応しました。また、毎月月初めに体重測定を行いました。

科目	実施月	実施機関
内科健診	今年度中止	
耳鼻科検診	今年度中止	
歯科検診	今年度中止	
眼科検診	今年度中止	
施設健診	11月7日	保健所（若年対象者のみ）
予防接種 （職員含む）	10月11日	いりたに内科クリニック（インフルエンザ）

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生しませんでした。

7. 危機管理

(1) 事故防止・ヒヤリハット

毎日職員終礼時にヒヤリハット・事故報告をし、その日のうちに状況と対応策を確認し合いました。

毎月の職員会議では3所の事故・ヒヤリハット報告を行いました。今年度も施設において各種保険（施設賠償保険、傷害保険）に加入して万が一に備えました。

	事故							ヒヤリ ハット
	自傷	他害	転倒	行 方 不 明	誤薬	その 他	合計	
第一	0	0	3	0	2	2	7	6
第二	0	0	2	0	0	0	2	5
合計	0	0	5	0	2	2	9	11

(2) 緊急時対応等

今年度は緊急な対応を行うことはありませんでしたが、緊急時の対応や連絡等について、主任会議内で確認しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などは、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た人のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）利用開始に伴い、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、提出を求めました。

職 名	氏 名
取扱管理責任者	施設長 茂木 幹雄
取扱責任者	主任事務員 辻村 佳子

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画の自衛消防体制組織を確認し、職員に役割を掲示し周知しました。消防用設備点検は外部のメンテナンス・サービスに依頼し、特に問題はありませんでした。BCP計画も策定し、実施しています。

(2) 避難訓練

①第一和泉

指導者	訓練名および実施日
防火管理者	地震 6月21日、火災 10月29日、水害 11月22日

②第一堀ノ内

指導者	訓練名および実施日
防火管理者	地震 4月21日 7月21日 10月30日 1月31日、 火災 5月26日、水害 6月27日 9月27日

③第二方南

指導者	訓練名および実施日
防火管理者	地震 4月19日、火災 6月21日、水害 11月6日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。各所にてコーディネーターによる防災診断を行い、対策指導を受けました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 6月・10月・2月にいずみ連絡会を開催し、保護者の方との親睦を深める機会を持ちました。個別にご相談を頂いた方には、直接面談またはお電話でご意見を傾聴させていただき、課題解決に努めました。
- ② 3月に「利用調査(施設満足度)アンケート」を実施しました。集計結果は令和6年3月の職員会議で説明し、利用者様・保護者様には書面で配布しました。

(2) 三者面談

年2回の三者面談を行い、ご家庭・GHでの様子を伺いました。面談時には本人や家族の了解のもと相談支援専門員・GH支援員・後見人等、関係者の方々にできる限り参加をお願いし、チーム支援が行えるように努めました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

11月より、いずみ主催の地域事業との研修会を隔月に開催し交流を深めました。その他にも共同受注などにより、今まで関係のなかった事業所とも連携し

相互関係の構築に努めました。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

ア. 杉並区「すぎなみ仕事ねっと」や「杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」等には定期的に参加し情報共有を行いました。また、区内の就労移行施設からの利用者紹介などもあり、積極的に情報交換を行いました。

イ. 相談支援事業者との連携は、定期的な電話連絡の他、ケース会議や個別面談等に参加し関わりを多く持ちました。

② グループホームとの連携

利用者 29 名がグループホームを利用中で、五十歳以上の高齢利用者も増えているため、日々の情報交換はより注意して行いました。東京都手をつなぐ育成会城北地域生活支援センター支援ワーカーともケース会議を行い、情報交換を行いました。三者面談時には、グループホームの世話人も可能な限り参加していただきました。

③ 東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホーム支援ワーカーとの連携、都育成会地域法人連絡会主催のオンライン研修会に参加、地域法人連絡会所属施設長とのオンライン幹事会、新型コロナウイルス感染対策が緩和され、対面での実践発表会参加など数多くの連携を行いました。

④ その他

「東京ビジョンアイクリニック阿佐ヶ谷」、代々木上原の「みさき眼科クリニック」の待合室壁面に作品を展示させていただきました。

第一堀ノ内は町会に加入しています。

(3) 実習等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルスの感染対策も緩和され、ボランティアの受け入れは可能な状況ではありましたが、受け入れに至りませんでした。

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
41 名	17 名	58 名

③研修・実習受け入れ状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響化の中、実習希望者を積極的に受け入れ、年間 14 名の実習生を受け入れました。地元中学校からは 7 名の実習生を受け入れました。

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	7 名	2 名	9 名
特別支援学校ミニ実習	3 名	0 名	3 名
中学生実習	4 名	0 名	4 名
在宅者他	5 名	6 名	11 名
合 計	19 名	8 名	27 名

1 1. 会議・委員会

(1) 会議

会 議 名	回数	会 議 名	回数
三役会議	8 回	主任会議（臨時含む）	50 回
職員会議	12 回	第一和泉支援員会議	12 回
第一堀ノ内支援員会議	12 回	第二方南支援員会議	12 回
いずみ連絡会	2 回	工賃評定会議	2 回
研修報告（職員会議内）	12 回	事故報告（職員会議内）	12 回

(2) 委員会

会 議 名	回数	会 議 名	回数
虐待防止委員会	11 回	自主芸術広報委員会	7 回
健康推進委員会	1 回	送迎サービス委員会	4 回

(3) 地域との連携

会 議 名	回数	会 議 名	回数
すぎなみ仕事ねっと定例会・役員会（杉並区主催）	12 回	杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議（杉並区主催）	12 回
東京都手をつなぐ育成会 地域法人協議会研修委員会	8 回		

12. 研修計画

(1) 研修実績 (オンライン研修含む)

年12回	サポーターズカレッジ中堅職員研修 2名
年12回	サポーターズカレッジ管理職研修 3名
4月26日	地域法人協議会「現場で学ぶ障害者権利条約と日本の障害者施策の現状と今後」
4月26日	サポーターズカレッジ「保護者との連絡ノートの書き方」職員会議参加者
6月28日	職員研修(グループワーク)「ニヤリほっと」職員会議参加者
7月5~6日	防災・防火管理者資格取得講習 1名
7月12日	虐待防止研修「スキルアップ研修」(前期) 3名
7月26日	職員研修 ケース検討「O.Yさんの支援について」職員研修参加者
8月1~2日	防災・防火管理者資格取得講習 1名
8月7日	高齢者・障害者の虐待防止 虐待の捉え方・気づき・早期発見・早期対応 1名
8月30日	職員研修「時間のとり方について」職員会議参加者
9月14日	第一回ステップアップ研修「障害者・児施設の介護事故の防止」 1名
9月20~21	サービス管理責任者研修 1名
9月22日	自閉症支援研修「柔軟性と般化」 1名
9月27日	職員研修 「AED講習」 職員会議参加者
10月25日	職員研修「支援の心構え」職員会議参加者
11月10日	キャリアⅢ研修 1名
11月29日	職員研修 「強度行動障害について」職員会議参加者
11月30日	ステップアップ講座 障害者支援の実践「障害者虐待防止の理解と対応」
12月6日	地域法人協議会 令和5年度実践発表会 2名
12月14日	虐待防止研修「スキルアップ研修」(後期) 3名
1月31日	職員研修「支援の心構え」10/25の続き 職員会議参加者
2月7~8日	防災・防火管理者資格取得講習 1名
2月7日	地域で考える防災～はじめての一步～ 1名
2月13日	地域法人協議会 グループワーク研修 1名

(2) 職員育成

毎月の職員会議で研修報告をし、研修を日常支援にフィードバックするようにしました。

全職員が虐待防止研修をはじめ研修に参加し、新人研修はオンライン講義を活用し実施しました。

1 3. 労務管理

(1) 職員健康管理

①職員に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。

②職員にインフルエンザ予防接種を実施。

(2) セクシャルハラスメント・パワーハラスメント等の防止

職員相談担当理事を配置 相談実績は1件。

(3) メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェックを1回実施しました。

(4) 次世代育成支援

いずみ通信を地域に配布し、啓発活動を行いました。

(5) 職員の休憩時間の確立を行いました。各所で工夫をしながら法定休憩時間の取得をしています。

1 4. 指導・監査・調査等

(1) 施設満足度調査を令和6年3月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「建物の設備」「職員の態度」について回答を頂きました。

(2) 第三者評価の受審

3年に一度の第三者評価を受け、概ね高評価をいただきました。

ご意見として各種マニュアルの整備と活用があり、今後取り組んでいきます。

1 5. その他

(1) 広報活動

季刊誌「いずみ通信」を年4回発行しました。

(2) 資金計画

①職員給与には処遇改善助成金を支給しました。

②社会福祉法人東京都共同募金会より、第一に作業用椅子10台と第二に除湿器2台を頂きました。

③一般社団法人昭和会館より空調つきベストを26着堀ノ内に頂きました。

④公益社団法人昭和池田記念財団よりノートパソコンを頂きました。

⑤社会福祉法人松の花基金よりノートパソコン2台第二に頂きました。

1 6. 決算

別紙参照